

2 市財政情報発信キャラクター「いばら騎士」と 令和3年度決算の概要を見よう 問財政課 ☎ 620・1612

一般・特別会計の決算状況

一般会計・各特別会計のいずれも黒字となりました(表1参照)。令和3年度は、長期化する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策に継続して取り組むとともに、日常生活・社会活動等の支援等を推進したほか、財政健全化の確保のもと、「今」と「将来」に対応し、「豊かさ・幸せ」を実感できる「次なる茨木」の実現に向けた取組みを推進しました。

令和3年度歳出決算額の内訳(市民1人あたり)

歳出決算総額を市の人口で割った金額の内訳

①福祉の充実	193,300円	⑤市債(借金)の返済	18,400円
②環境・保健衛生の向上	47,100円	⑥消防・救急業務	9,900円
③教育の推進	46,400円	⑦農林・商工業の振興	7,100円
④道路・公園等の整備	24,000円	⑧その他	42,400円

表1 会計別決算額(億円)

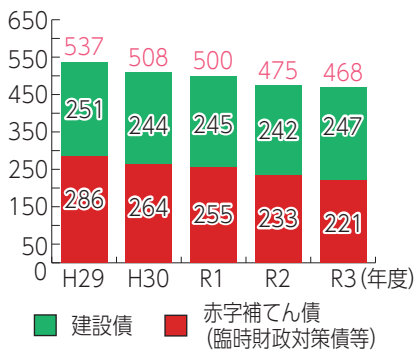
会計	一般会計	特別会計			
		財産区	国民健康保険事業	後期高齢者医療事業	介護保険事業
歳入	1,123.1	50.8	284.1	45.4	207.6
歳出	1,101.0	0.9	272.7	43.7	204.5
繰越	12.6				
差引	9.5	49.9	11.4	1.7	3.1

差引=歳入-歳出-繰越(繰越=翌年度に繰り越す財源)

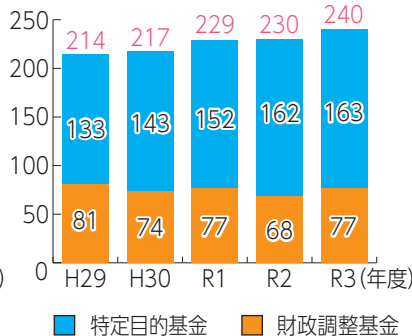
主に税金を使って福祉・教育等の市民サービスを行うのが「一般会計」、保険料等の特定の収入で特定の事業を行うのが「特別会計」です。



(億円) グラフ1 市債(借金)残高



(億円) グラフ2 基金残高



市債(借金)残高・基金残高の推移

グラフ1の市債(借金)残高は、借入額を償還額以下に抑制したことで、減少させることができました。

グラフ2中の「財政調整基金」とは、災害や急激な財源不足等に備え、設置を義務付けられている市の貯金にあたるものです。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策の財源として取崩しを行う一方で、適切に積み立てた結果、残高は77億円に増加しました。また、駅前再整備事業等の財源となる特定目的基金の残高も増加しました。

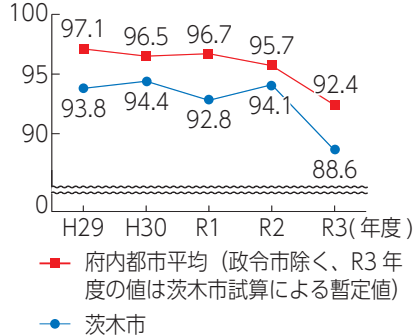


まちの持続的発展のためには「財政の健全性」の確保が重要になるのね。

経常収支比率・ビルド&スクラップ

グラフ3は数値が低いほど、財政構造に弾力性(市民ニーズへの対応力)があることを示す「経常収支比率」の推移を示しています。令和3年度は、経常的な支出の増加以上に普通交付税等の収入が増加したことから、数値は改善していますが、今後も財政構造の弾力性を維持するために、引き続き「ビルド&スクラップ」の実践等、財政の健全化の取組みを進めていきます。

(%) グラフ3 経常収支比率の推移



ビルド&スクラップとは「ビルド=市民福祉の向上を図る新たな事業を実施」するために、「スクラップ=既存事業の見直し」をしながら進めるという前向きなスローガンだよ。これにより適切な比率をキープしつつ、継続して市民サービスの充実に取り組んでいるんだね。



今後も「財政の健全性」の確保のもと、「次なる茨木」の実現に向けた取組みを着実に推進します。

各施設の休館日等は市HP等でご確認ください。

問合先、メールアドレス、HP ホームページ、**保**一時保育あり(原則有料、詳細は事前にお問い合わせを)